

昭和十六年度 庶務日誌 青年寄宿舍

青年寄宿舍舎生及委員(第1期)

副舎長 山根乙彦 (農育二ノ二)

会計 渡辺健 (工機ノ一)

食事部 菅沼健三 (農経) 細田収 (医専二) 小林茂 (林〇二) 岡本久史 (予工一)

運動部 斉藤弘夫 (予工三) 河辺教堆 (予工三) 持月、白崎

文芸部 竹沢浩三郎 (予工三) 三村予工三) 小林久信 (予理一) 兼平 (予医一)

庶務 三宅勝 (農育二ノ一)

五十年始編纂委員 三村外文芸部一同

六月一日

本日よりこの日誌を始む。四月第一期始まると共に色々記すべき事が多かったが今其れと記せぬのは残念。しかし思い立ったが吉日と今より昭和十六年度、初めての庶務日誌と書き始める次第なり。

明日大掃除検査の爲め、第三号室のみ掃除を〇つて他の部屋は既に済んでる。

午後残存の舎生 テニスコートのアルバイト。随分綺麗になった。もう一息といふ所。

本日は対高商野球戦。予科勝つ。

六月二日 月 雨

〇 夜、山根大将と三宅、十四分己の総回に初出席、〇の十五年度決算報告、十六年度予算報告あり。

六月三日 曇

〇 石炭配合一 (不明) 来る

〇 夜八時於五号細田退舎コンパ エッセン豊富の御馳走なり。舎の名食事部として名をあげた彼の退舎惜しみて余あり。

遂に在舎生十五名となる。

〇 先輩若松不二雄氏凱旋歓迎コンパの委員発表あり。

告！！

左記ニ依り若松先輩ノ戦地談ヲ聞クノ会ヲ開キマス。

六月六日 (金) 六月九日 (月) 未定

委員ハ左ノ諸君ニ願ヒマス。

三宅君 (顧問) 竹沢君 (委員長) 斉藤君、三村くん、小林 (久) 信君

開会午後七時 以上

？

昭和十六年度新入生歓迎会委員ハ日左ノ如シ

(饗応部) 菅沼、望月、竹沢、細田…… (省略)」

六月四日 水

コート修理のアルバイトも完成目途にせまり運動部はその全力を挙げて修理に架かる。即ち本日、朝庭と晩〇の二班に分け全舎生をしてそれに参加せしむ。天気不良にもかかわらず全舎生も大いに張り切って働く。運動部係戸田の努力に俊う所多シ。感謝々々。

六月七日 土

本日コート開きの予定なりしも、旬日来の悪天候の為め、遂に延期する。来る九日（日）夜若松先輩歓迎会を決定す。係大いに活躍して各先輩招待に奔走す。

六月八日 日

夜、山根、茅沼、三宅、田村先輩訪問〇まるを〇す

六月九日 月

午後七時より若松先輩凱旋歓迎会開催。

毎度の事ながら宮部先生初め、全〇は鈴木、亀井、奥田先生達は勿論久し振りに山口さん、時田さん、又、珍しく櫻林さんの出席もあり、実に八人の先輩を迎へ盛会で、あった。定刻より少し送れ七時半、会開く。今回もテーブルスピーチの形式で極く〇かに進行す。先ず山根副舎長の開会の辞を兼ねての管〇〇若松さんの紹介あって次いで若松さんの尊い戦地の体験談に耳をかたむける。大体戦地の模様、場所、日付の説明をされ、ついでエッセンをくいながら快々的に色々な話に花を咲かせる。奥田先生と話もうまく合うし、その上、平さんが例の調子でユーモアを飛ばすので、九時閉会の予定がついのびて十時近く。先生御就寝の時間も相当過ぎたので閉会とす。しかし此の三時間にも涉らんとする間先生が終始にここに話に耳を傾けられていたのは喜ばしかった。

会終わって山根さんより、最近の所感を述べ、加ふるに舎生活の反省に関する意見発表の〇〇討論会の開催の提議あり。舎生諸兄の賛〇を得て決定す。次いで竹澤、〇直に、舎生活、就上級下級生の人的交渉に関する意見発表あり。之れに答える者健さん、三宅、又珍しく福本氏来舎されてをり、一先輩としての私見を述べられ、大いに盛なる。熱心なる舎生活に対する討論の行われた事は愉快であった。

六月十日 火

昨日より好天。本日コートライン引き終わり、打興ずる舎生数名あり。以外（ママ）に立派に仕上がった。

六月十二日 木

午後六時半テニスコート開き。舎生のアルバイトのみにてコートは立派に出来上がった。運動部諸兄の辛苦を謝す次第なり。テニス終わって舎の食堂にて慰労コンパ。猶本日賄いの小母さん目度男子出産なされたとの事。

本日左記事項揭示す。

夏休み賄（〇人）食費一日分 九十銭

寄宿舍閉鎖期間六十二日（自七月十二日至九月十日）

賄食費 五十五円八十銭

二カ月賄給料 三十円

従って舎生一人休暇前前納すべき全額

○ 舎生 二十円 (十円石炭代 五月賄給料、食費五円、其の他の購入費)

新入舎生 三十円 (以上の二十円の外、米代前納十円) 以上

六月二十日 土

午後八時より十一号室 (健さん) 主催にて舎生活に関する座談ありとの掲示あり。面白い試みだ。出席せし者、十名余り、熱心に二時間余りに渉り舎生活の見当 (ママ) が行はれる。殊に我々上級たる学部○中大いに収穫あり。機械ある度にかかる会が開かれる事を望む。

六月二十二日 日

雨降りの日曜なので午前十一時頃より六月分決算を行ふ。出席するもの、学部生のみ。一日食費六十五銭。大体一人貳拾八円位の舎費、少々高いかも知れんが少人数の事とて無理もない。今回も石炭代、薪炭代の徴収に苦心する。結局最小限で間に合わず。席上夏期休暇、舎閉鎖に関する相談あり。夜、梨本宮迎へに駅にゆく 昨日学生課よりの達しありたればなり。

六月二十八日 土

石炭配給 (一?分) 来る

六月三十日 月

健さん炭配給分の受け取りにいつて呉れる。九俵分内五俵は舎残り四俵分を?の人へ

菅沼 満州への勤労報国隊参加の爲め東京に向け今夕出発

七月二日 水 食用油需要量、燐寸需要量の申請書来るにつき市役所に提出。並釘配給キップを貰い買ってくる。小林?帰省。

七月六日 午前中寺岡義郎氏 (先輩) 来舎され特別室にて歓談暫時。故坪田氏遭難の地に行かれる予定との事。

七月五日 青木氏上京さる。七日吉田氏訪問。建築の件に関し再度交渉を進められる筈なり。

七月九日(水)予科試験終了。之れで全舎生夏期休暇に入る。本日、午後五時半食堂にて解散コンパ、すき焼きにて行ふ。全舎生の外、三木を?へて十四名。食後休暇中予定をひろう、並バケーションノートを作る。午後九時兼平帰省を一同にて送る。終わって町を散歩十時帰舎

七月八日(火)午後九時賄いより子供全快祝いのおしるしとしてオハギ、イチゴの御馳走あり。

七月十日 (木) 市役所より砂糖其他物資配給ノ資料トスルベキ人員調査者来ル。

パン配給九月十日迄休む事と決めてくる。

七月十一日 (金) 本日より舎を閉鎖す。舎生暫時減る。望月 (午前中) 河辺、三村、戸田、樺太へアルバイトに出発す。山根氏奥田氏訪問

七月十二日（土）

午後四時関本帰省 夜残舎生小コンパ

七月十三日 午前十時山根、斉藤、小林三名帰省。三名残る。

七月十五日 午前中休燈。部屋数（二、三、四、五、六、七、八、九、十、特）？二号、八号ノミ二ヶ計十二ヶ来ル九月五日ニ至ル期間。

七月十八日 朝の急行で竹澤帰省

七月十九日 午後三時四十五分の列車にて望月士別より帰舎す。

七月二十四日 本日午後岡本来舎。望月とテニスして帰った由。

七月二十五日 午前十時の列車にて望月帰省。

七月二十七日 朝の急行で健さん帰省。樺太アルバキト組より便りあり。元気いっぱい働いている模様。

七月二十八日 山根さんより安着の便りあり。

七月二十九日 午後九時十七分 白崎帰省。午後五時四十分の列車にて平戸先輩旭川に向け出発

八月一日 本日より米配給舎生人数十名。七月分砂糖配給〇〇〇〇

八月二日 三宅帰省す。

九月十日 夜帰舎すると既に皆帰舎していた。皆健康。ただ小林（S）のみ旅行にて不在。休み中に小林（H）退舎。新入生として、工一中安を迎ふ。猶九月上旬奥田先輩再度応召せらるとの事。

九月十一日 夜六時半より二学期集合コンパ兼中安歓迎コンパ

九月十四日 朝小林 S 帰舎 全舎生揃ふ 午前十時より医学部グラウンドにて東西対抗〇球戦。十三対七にて西軍勝つ。夜、〇球戦慰労コンパ兼秋葉（工土一）歓迎コンパ。席上苾委員発表あり左記の如し。

会計 斉藤、庶務 菅沼、食事部 渡部、〇〇、兼平、三宅

文芸部 竹澤、白崎、三村、運動部 望月、戸田、小林（S）、岡本、中安、秋葉

九月二十日 土 本明日終期定期旅行の予定なれど天候不良の為め中止

九月二十一日 戸田、一身上の都合の為め退舎する。

九月二十三日 昼 田村、角、ニ先輩の訪問を受ける。

午後七時より七、八、九月分（六月二十一日——七月十日、九月十一日—九月二十日）決算を行ふ。例年食費、舎費の高くなるのは何時もの事とはいえ、一日九十二銭の食費となったのは一寸驚かされた。考ふるに今度は夏期休暇中に米の配給を殆ど変わる事なく受けていた為、え、米代は百三十九円五十三銭という莫大な金額に達した。今度は此れを回収する為め米代の余分に要せし事に食費の暴騰の一因があると思う。其の上、米代に夏期休暇中の石炭代をまはしたため、二学期配給されるべき十五噸？の石炭代を十噸だけ受ける事にし今回はその七噸分（百四十円）を徴収した。即一人分九・三十銭。大体今月は普通の人で四十七円見当なり。かかる舎費の暴騰に対し、会計から説明すべく、舎生を一同に

集める（午後十時半）．会計の懇切なる説明に対し、真剣なる質疑応答あり．終わって副社長（ママ）より先に選挙により定めた役員の変更の発表あり．即左記の如し．

会計 齊藤 渡辺 庶務 河辺 三宅 食事部 兼平、秋葉、白崎、菅沼
運動部 小林、岡本、中安 文芸部 三村 竹澤 親切配給物品係 望月

同時に来るべき冬期に備へ、一室二人を原則とするコンビの発表あり．左の如し

渡辺、望月 菅沼、秋葉 齊藤、岡本 竹澤、白崎 河辺 小林、三村 中安、三宅 兼平

九月二十九日 石炭 2 噸分配給を受く．今朝河辺妹既得の為め帰省す．秋田寮より○球対寮○○○

九月三十日 舎の大掃除の予定の筈なれど悪天候の為め延期す．

十月三日 先輩若松氏再度の応召を受け本夕の申込みあり 午後五時四十分の列車にて壮途に就かる．

十月四日 午後二時より対仙台寮より○球戦を○ふ 五対三にて破る．午後四時より舎内外の清掃を行ふ

五日 秋期旅行．花魁淵にてすき焼き．夜九時より食堂にて恒例の月見あり．河辺帰る．

八日 明日の秋期大掃除を控え部屋の掃除を為す者あり．揚句来る十三日（土）夜月次会委員 竹澤、三村、岡本、中安の四人

十一日 午後七時、亀井、奥田、山口、桜井の四先輩を迎へ、二学期最初の月次会を開く。

（宮部先生上京中）テーブルスピーチ式に行ふ。席上、桜井氏の函館市立病院就任に関する挨拶あり．それから専ら奥田、山口両氏を中心に○○話に三時間余に渉りだべる．午後十時半閉会 本日石炭十三噸配給となる 石炭小屋に溢れる。

二十一日（火）十月分決算．食事一日六十三銭 舎費 大体三十円 今回は食費安く、石炭代（三 t o n 分 60 円）一人四円を取る事が出来た．

二十三日 記念祭委員の発表あり。

庶務 河辺、望月、兼平、三宅、 接待 小林、戸田、渡辺

会計 齊藤 裝飾 中安、三村、竹澤 懇心 秋葉、白崎、岡本、菅沼

二十四日 記念祭招待状 山根氏作り中西印刷所に依頼す。

二十五日 招待状二百枚、出来上がり、舎生各位に手分けしてもらひ同日発送終わる。石炭代払い終わる。